

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p><研究課題名></p> <p>悪性リンパ腫に対する自家造血幹細胞移植と放射線治療の調査研究 Japanese Radiation Oncology Study Group(JROSG)</p>
<p><研究機関・研究責任者名></p> <p>日本大学医学部附属板橋病院 放射線治療科 (研究責任者)石橋 直也</p>
<p><研究期間></p> <p>承認日 ~ 西暦 2024 年 12 月 31 日</p>
<p><研究の目的と意義></p> <p>近年再発した悪性リンパ腫に対しては自分の造血幹細胞の移植(ASCT)を前提として大量化学療法が行われる。過去の大規模な臨床試験により大量化学療法後の ASCT の有効性が証明され化学療法に感受性のある群において標準治療となっている。さらに ASCT 後に病変が存在した部位に再発予防で放射線治療が行われることもある。しかし大量化学療法後の ASCT の多くの報告は放射線治療の有無が様々である。今回我が国の悪性リンパ腫に対する自家移植と放射線治療症例を JROSG(日本放射線腫瘍学研究機構)が主体となって集計することにより、自家移植と放射線治療の実態、有害事象、治療成績を把握することは実地臨床における治療の標準化という観点からも意義があると考えられる。</p> <p>本研究は、より多くの症例データを短期間で集積するために計画された多施設共同研究であり、既存の資料を後方視的に調査する観察研究である。</p>
<p><利用する試料・情報の項目></p> <p>放射線治療を行った悪性リンパ腫の方についての化学療法や ASCT や放射線治療のデータおよび放射線治療前後の副作用の結果など</p>
<p><対象となる患者さん></p> <p>2011 年 1 月 1 日~2019 年 12 月 31 日の期間に当院および研究協力施設で悪性リンパ腫に対して自分の造血幹細胞を移植された方のうちその前後で放射線治療を行った方</p>
<p><研究の方法></p> <p>追跡調査で化学療法や ASCT や放射線治療のデータと放射線治療前後の副作用の結果などについて検討を行う。</p>
<p><外部への試料・情報の提供等></p> <p>当院の放射線治療センターがデータセンターで特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。</p>
<p><研究組織></p> <p>研究代表者 日本大学医学部附属板橋病院 放射線治療科 石橋 直也 研究事務局 JROSG ホームページ http://www.jrosg.jp JROSG 部位専門委員会 悪性リンパ腫・血液腫瘍グループ 委員長 獨協医科大学病院 放射線治療センター長 江島 泰生</p>

研究協力施設 特定非営利活動法人日本放射線腫瘍学研究機構(JROSG)および公益社団法人日本放射線腫瘍学会(JASTRO)参加施設のうちアンケート調査に協力いただいた施設

<お問い合わせ窓口>

〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30-1

日本大学医学附属板橋病院放射線科 氏名:石橋 直也

電話:03-3972-8111 (PHS 8648)

日本大学医学部附属板橋病院(ver.1705)